

有限責任事業組合 メディカルコミュニティパートナーズ

*Medical Community Partners, LLP*

MCP

## 設立趣意

今日の日本社会における重要課題の一つに、知をベースとした新たな資源をいかに開発し社会に還元・定着させるかという構造的問題が挙げられると認識しております。

このような知を核とする時代においては、「人」さらには、人により形成される「コミュニティー（複数人の交流の場）」の重要性が増しその存在が不可欠であると考えられます。

また、知的コミュニティーの中心的存在として大学や研究機関などのアカデミアの果たすべき社会的役割・期待もますます拡大するものと思われまふ。特に急激な技術革新や社会構造変化の波にさらされている医学・保健医療の領域においてもアカデミアが主体となりコミュニティー基盤の構築に積極的に参画することは極めて意義深いことであると認識しております。



宮地 貫一  
元文部科学省 事務次官

一方、ネット革命がもたらすであろう新たなコミュニティー概念も医学研究、実地医療ならびに保健医療に大きなイノベーションをもたらすと思われまふ。具体的には『大学病院や自治体を中心とする地域医療ネットワーク』、『ビッグデータや AI を活用したデータヘルス（自治体の保健政策、企業の健康経営）』、『アカデミア主導の臨床研究パートナーシップ（ARO : Academic Research Organization）』、『SNS を活用した学際的な研究・教育の拠点形成』などの新たな価値創造基盤が構築されつつあります。

また、大学発ベンチャー創出を支援する法律面におけるインフラ整備（大学等技術移転促進法、産業活力再生特別措置法、産業技術力強化法、知的財産基本法等）により『バイオ研究における産学連携パートナーシップ』の進展も新たな形態として脚光を浴びております。

我々は、このような言わば『メディカルコミュニティーパートナーシップ』という新たな場の創生を目的として本組合を設立いたしました。組織の形態に関しては、高い専門性を有する人財を中心とする人的組織を重視することに鑑みて、検討を重ねた結果、平成 17 年 8 月に施行された「有限責任事業組合契約に関する法律（LLP 法）」を適用することがもっとも適当であると考へ、平成 17 年 12 月 16 日に有限責任事業組合として立ち上げることとしました。

本組合の活動を通じて、わが国の医学研究や実地医療ならびに保健医療の発展と同時に、産学連携の持続的成果による社会経済の発展に寄与できるよう組合員一同力を尽くしてまいる所存であります。

以上

設立時 代表パートナー 宮地 貫一

宮地貫一先生は、2019 年 2 月 23 日に永眠されました。ここに、謹んで哀悼の意を捧げると共にご生前に賜りましたご厚情に対して心より感謝の意を表します。

有限責任事業組合 メディカルコミュニティ パートナーズ  
Medical Community Partners, LLP

## 組合概要

### 組織概要

名称：有限責任事業組合 メディカルコミュニティ パートナーズ

Medical Community Partners, LLP (Limited Liability Partnership)

成立年月日：平成 17 年 12 月 16 日

所在地：東京都中央区八丁堀 2-19-5 日本興和ビル 4F (401)

産学連携研究室：帝京大学産業環境保健学センター EBM 部門

昭和大学ストレスマネジメント研究所 (2023 年 10 月開設)

### 事業概要

1. 学術機関や医療機関向け臨床試験事業構築の戦略コンサルティング
2. 学術機関や医療機関向け産学連携支援
3. 次世代の医療情報システム構築に関するコンサルティング
4. 事業化コンサルティングおよびベンチャーキャピタル事業
5. 投資事業組合の管理運営
6. 保健、医療または福祉の増進を図る事業
7. 前各号に附帯関連する一切の業務

## 組合員

代表パートナー	松田 浩幸 (元 Sanofi S.A.、元 ORGANON)
代表パートナー (共同代表)	北山 貴澄 (元 Deloitte、元 Ernst & Young)
パートナー (財務担当)	松田 隆 (元 東京三菱銀行)
パートナー (営業企画)	灰本 董 (元 日本アイ・ビー・エム 事業本部長)
パートナー (学術担当)	松田 一夫 (元 日本触媒 取締役)

※上記以外のメンバーとして医学専門家 4 名、技術系コンサルタント 4 名、弁護士 1 名在籍

## 主な取引先

国立大学法人 高知大学、学校法人 帝京大学、株式会社 NTT データ、医療法人社団 総愛会  
公益財団法人 労働問題リサーチセンター、NPO 法人 よろず相談 21 世紀法人像研究会、他

有限責任事業組合 メディカルコミュニティ パートナーズ  
*Medical Community Partners, LLP*

組 合 員

<p>代表パートナー 松田 浩幸</p> <p>金沢大学 薬学部 製薬化学科卒</p> <p>帝京大学大学院 公衆衛生学研究科卒 (公衆衛生学修士)</p>	<p>鐘紡株式会社薬品事業本部、ロズブーラン ローラー株式会社 (現 Sanofi S.A.)、オルガノン株式会社課長職にて開発責任者 (マネージャー)、株式会社モス インステイユート部長職にてマネージャー 上場を経て、平成 17 年 12 月にメディカルコミュニティパートナーズ 設立と同時にパートナーに就任。</p> <p>ストラテジストならびに臨床開発リーダーとして、プロトコル策定、研究組織構築からプロジェクト マネジメントならびに臨床開発リーダーとして、プロトコル策定、研究組織構築からプロジェクト マネジメント業務全般にわたり実務を経験後、開発企画部マネージャとして、数多くの開発戦略立案および国際臨床開発プロジェクトに従事。新薬治験支援のベンチャー企業では幹部社員 (新規事業構築、コンサルティング営業、EDC システム設計、オペレーション設計・管理) としてマネージャー 上場に貢献。最近では学術機関の技術シーズの発掘・評価、国内外の研究助成申請、国際共同研究の企画・組成に関するコンサルティングに積極的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和大学ストレスマネジメント研究所 研究員 (教員職)</li> <li>・帝京大学産業環境保健学センター 上席研究員</li> <li>・帝京大学知的財産センター 産学連携コーディネーター</li> <li>・日本公衆衛生学会員</li> <li>・日本行動医学会</li> </ul>
<p>代表パートナー (共同代表) 北山 貴澄</p> <p>明治大学 政治経済学部 経済学科卒</p>	<p>監査法人系コンサルティングファーム (トーマツ コンサルティング / Deloitte Touche Tohmatsu)、外資系コンサルティングファーム (現キャップ ジェミニ / Cap Gemini Ernst &amp; Young) でのマネージャー職を経て、医療系ベンチャー企業設立に関与後、平成 17 年 12 月にメディカルコミュニティパートナーズ 設立と同時にパートナーに就任。</p> <p>海外マーケット調査から市場導入の実務を経験後、主に医薬品メーカー、通信キャリア、金融業界向けのコンサルティングを経験。事業戦略を主軸とし、市場調査、経営管理、株式公開支援、IT 導入計画策定等のコンサルティングに従事。特にプロジェクトや組織内でのコミュニケーション戦略の実践を得意としており、企業グループ、産学連携組織、学術プロジェクト、NPO 法人、中間法人等の組織立ち上げや運営経験を有する。さらに導入・定着フェーズにおける変革管理 (チェンジマネジメント) も数多く経験している。最近では、大学院設置認可、大学のグローバル推進、研究センター設立支援、産官学連携による学術研究の立上げや技術移転等の実用化に向けた企画・実行支援のコンサルティングに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和大学ストレスマネジメント研究所 研究員 (事業推進担当)</li> <li>・帝京大学産業環境保健学センター 企画・渉外マネージャ ('13 年～)</li> <li>・国立大学法人高知大学附属病院 経営戦略室 顧問 ('10 年～'12 年)</li> <li>・経済産業省 ERP 研究推進フォーラム分科会メンバー ('01 年～'03 年)</li> </ul>
<p>上級パートナー (財務顧問) 松田 隆 東京大学 経済学部卒</p>	<p>東京銀行 (現 三菱 UFJ 銀行)、長崎屋専務取締役、ジャックホールディングス代表取締役社長を経て、平成 17 年 12 月にメディカルコミュニティパートナーズ 設立と同時に共同代表パートナー、令和 5 年 4 月から顧問に就任。</p> <p>国内外でのプロジェクトファイナンス事業を数多く経験し、大規模事業への資金調達手段、投資評価、リスクマネジメントに精通するとともに、金融、産業界、学界、官庁等への幅広い人脈を有しており、最近では専ら事業構築やプロジェクト立上げ時のアドバイザーまたはアドバイザーとして活躍している。</p>
<p>上級パートナー (企画顧問) 灰本 薫 甲南大学 経済学部卒</p>	<p>日本 IBM 事業本部長、IBM 関西情報ソリューション代表取締役社長を経て、平成 17 年 12 月にメディカルコミュニティパートナーズ 設立と同時に上級パートナーに就任。</p> <p>ソリューション事業管理やチャネル政策等の IT 関連ビジネス全般に精通するとともに、IT 業界やベンチャーファントの人脈を多く有しており、最近では専ら IT ベンチャーの上場支援やターンアラウンドの実務家として活躍している。数多くの IT 系上場企業の役員・顧問を務める。</p>
<p>上級パートナー (学術顧問) 松田 一夫 京都大学 工学部 工業化学科卒</p>	<p>株式会社日本触媒 取締役研究開発部長、取締役社長室長 (研究開発、生産管理、兼システム開発担当)、監査役を経て、平成 17 年 12 月にメディカルコミュニティパートナーズ 設立と同時に上級パートナーに就任。</p> <p>応用化学における研究開発全般に精通するとともに、化学工業界の人脈を多く有しており、最近では専ら生産管理の専門家として活躍している。</p> <p>(主な取得特許) 各種触媒関連、空気清浄化装置、密閉系動物実験装置、その他</p>

有限責任事業組合 メディカルコミュニティー パートナーズ  
 Medical Community Partners, LLP

医学専門家

中尾 睦宏 東京大学 医学部卒 MD, PhD(医学) ハーバート大学公衆衛生大学院卒 MPH(公衆衛生学)	日本行動医学会 (理事) 日本うつ病学会 (理事、自殺予防対策委員) 日本女性心身医学会 (理事、認定専門医) 日本心療内科学会 (監事、編集委員、認定登録医) 日本心身医学会 (評議員、認定指導医) 他 2003年 - 2008年、帝京大学国際教育研究所助教授・医学部附属病院心療内科 2008年 - 2011年、帝京大学国際教育研究所教授・医学部附属病院心療内科 2011年～2018年、帝京大学公衆衛生学研究所 教授・医学部附属病院心療内科 2018年～2023年、国際医療福祉大学医学部教授・山王病院心療内科 2023年～、昭和大学ストレスマネジメント研究所長・教授
中田 善規 東京大学 医学部卒 MD, PhD(医学) イェール大学経営学修士 修了MBA	日本臨床麻酔学会 日本麻酔学会 American Society of Anesthesiologists 2002年 - 2006年、帝京大学ちば総合医療センター, 副院長 2006年 - 現在、帝京大学 医療情報システム研究センター, センター一長 2011年 - 現在、帝京大学公衆衛生学研究所, 教授
原 邦夫 京都大学 工学部卒 工学修士 名古屋市立大学 医学研究科卒 PhD(医学)	公益社団法人 日本産業衛生学会 (許容濃度委員会委員) 労働衛生コンサルタント、労働安全コンサルタント 作業環境測定士 1992年～、(財)労働科学研究所 2009年4月～、厚生労働省 リスク評価検討会 2006年4月～、日本産業衛生学会 許容濃度委員 2014年～2018年、帝京大学公衆衛生学研究所 教授 2018年～、産業医科大学 産業保健学部 教授
山本 秀樹 岡山大学 医学部卒 MD, PhD(医学) ハーバート大学公衆衛生大学院卒 MPH(公衆衛生学) 労働衛生コンサルタント	公益社団法人 日本産業衛生学会 (専門医・指導医) 労働衛生コンサルタント (保健衛生) 2005年～、岡山大学大学院環境学研究科 助教授 (准教授) 2011年～、帝京大学公衆衛生学研究所 教授 日本公衆衛生学会 評議員 (2008年～2011年) 日本産業衛生学会 代議員 (2002年～2012年) 一般社団法人 日本国際保健医療学会 理事 (2013年～)

技術系コンサルタント

医療情報コンサルタント 岩本 隆 慶應義塾大学 工学部 管理工学科卒 (情報処理)	大手自動車メーカー勤務後、医療機関向けコンサルティング会社で、医療法人の経営・運営支援ならびに数多くの病院向けシステム導入に加えて、産業保健事業や健康保健組合事業に関わるクラウドシステムの設計・導入プロジェクトを手がけた。 医療情報システム導入プロジェクトでは上流フェーズのコンサルタントならびにプロジェクトリーダーとして、総合医療情報システム、電子カルテ・オーダリングシステム、医療事務システム等、病院業務の全般にわたるシステムコンサルティングの経験を有する。ヘルスケア全般にわたるリサーチ業務に携わった後、メディカルコミュニティーパートナーズに参画し現在に至る。 現在、を手がける。 ・(社) 日本医業経営コンサルタント (運営) 資格 ・(社) 日本医業経営コンサルタント (システム) 資格
ITコンサルタント 松田 康 慶應義塾大学 経済学部 経済学科卒	大手システムインテグレーターにて勤務後、外資系コンサルティングファームでの豊富な経験を有する。総合商社の経営基盤構築、IT導入計画の策定、システム導入プロジェクトを多数手掛ける。新規事業開発、海外ベンダーとのアライアンス構築、営業戦略の立案、国内市場の開拓を担当。IT分野における事業開発に関する幅広い経験を持つ。 平成25年に株式会社プレイスを創業。個人事業主およびフリーランス向けの経営支援、業務改善を目的としたWebメディアの企画・運営に従事。50社以上の中小企業に対し、Webマーケティングと集客支援を実施。

有限責任事業組合 メディカルコミュニティー パートナーズ  
*Medical Community Partners, LLP*

<p>SE/WEB コンサルタント          田玉 啓太          東洋大学          文学部哲学科卒</p>	<p>大学在学中より、飲食店様、クリニック様、中小企業様の HP 等の小規模案件中心に Web 制作を中心に、プログラマーとして数多くの制作活動や IT サポートの実務を経験。大規模案件については、某大手銀行の勘定系次期システム統合プロジェクトの一貫として、統合後の新業務に関する行内マニュアルの電子化（エンジニア 50 名規模）、銀行内の事務手続規定、与信規定マニュアル、海外事務規定など、幅広い行内イントラ環境データを Web 化する移行チームに参画し、ディレクター、プロデューサーとしてチーム全体のマネジメント業務に従事。基幹業務システムだけでなく、WEB 系システム（医療系サイト、EC 事業、映像配信など）の PM、開発でも多くの経験を有する。</p>
<p>薬事コンサルタント          下井 信夫          東邦大学 理学部          生物分子学科卒</p>	<p>製薬会社勤務後、国立遺伝学研究所、(財)食品農医薬品安全性評価センターを経て、臨床試験受託機関設立後、メディカルコミュニティーパートナーズに参画し現在に至る。新薬や医療機器の承認取得に必要な全業務（前臨床試験～臨床試験、承認申請業務）に精通するプロフェッショナル。降圧薬や抗生剤等の新薬からステントや粒子線治療装置といった医療機器まで多岐にわたるコンサルタント経験を有する。          (所属学会)          日本先天性異常学会、日本実験動物学会、計量統計学会、医薬安全性研究会          (主な書籍)          統計ハンドブック統計解析編 サイエント社          薬効・毒性データの統計解析 サイエント社 (共著)          毒性試験法講座 14 毒性試験データの統計解析 地人書館 (共著)</p>

**主要実績 (1/3)**

クライアント	プロジェクト内容
某私立大学	官民グローバルファンドである GHIT Fund*から研究資金を獲得し、開発途上国の風土病を診断する迅速診断キットの研究開発に関する研究計画策定、運営管理を中央事務局として支援した。(現在実施中)
某私立大学	AMED*から資金獲得し、無電力汎用型の細菌診断キットの研究開発に関する研究計画策定、運営管理全般までを中央事務局として支援した。
某私立大学医学部	国際共同研究プロジェクトとして、AMED から資金獲得し、米国 CDC*における病原性真菌の迅速診断キットの研究開発に関する研究計画策定、運営管理全般までを中央事務局として支援した。
某私立大学医学部	療育環境下における多剤耐性菌感染症制御に関する寄付講座の大学内設立を支援、社会福祉法人から研究資金を獲得し、運営管理を中央事務局として支援した。
某私立大学	大学経営陣に対して、新たな組織として「産業保健・環境保健センター」の立ち上げに関する企画を行い、事業化戦略および組織作りについてのコンサルティングを行い、産業環境保健学センター設立を実現させた。
某私立大学	国内某所における粉塵被害について住民の意識調査、疫学調査を企画、研究計画策定を支援し、英国の民間ファンドから研究資金を獲得した。
某私立大学	日本産業衛生学会の地方会と東京都の産業医卒後研修の開催・運営にいたるまでを事務局として業務支援した。
某私立大学	大学経営陣に対して、産業保健職(産業医、産業保健師)向けの社会人学び直しプログラムの立ち上げに関する企画を行い、文部科学省から資金獲得し、産業保健高度専門職養成大学院プログラムの新設を実現させた。
大手通信系 ICT 企業	企業の健康経営を支援するクラウドサービス(産業医支援・健康保健組合支援)のソリューション営業、サービス導入・運営に関するコンサルティング支援を、大企業(7社)および省庁(1省庁)に対して行った。
某私立大学公衆衛生大学院	産学連携プロジェクトとして、地方自治体から資金獲得し、未病の程度を評価する指標開発に関する企画・推進支援を実施した。
某私立大学公衆衛生大学院	産学連携プロジェクトとして、地方自治体から資金獲得し、火山ガス情報の観光客および地域住民へのリスクコミュニケーションプラン策定に関するコンサルティング支援を自治体に対して行った。

**主要実績 (2/3)**

クライアント	プロジェクト内容
某私立大学	大学経営陣に対して、大学院の新設(公衆衛生専門職大学院)に関する企画を行い、文部科学省との折衝、事業化戦略および組織作りならびに文科省設置認可の申請手続きについてのコンサルティングを行った。
某私立大学	某公益財団法人の東北地方大震災後復興支援事業に対する第三者評価研究を企画立案し、財団法人との折衝、研究計画、研究組織作りを支援した。
某私立大学	大学経営陣に対して、新たな事業(ARO 事業)の立ち上げに関する企画を行い、ARO*としての事業化戦略および組織作りについてのコンサルティングを行い、臨床研究センター設立を支援した。
某私立大学	学内某研究センターにおける新薬の前臨床試験受託の収益事業化に関する企画を行い、研究センター内 SOP とマニュアル、学内規の策定を支援し、民間企業から第1号案件を受託した。
某私立大学	産学連携プロジェクトとして、某機能性繊維に関する機能解析および力価評価方法開発の企画立案と提案営業を行い、民間企業から研究資金獲得した。
某私立大学	大学経営陣に対して、新たな事業(感染症制御研究事業)の立ち上げに関する企画を行い、センターとしての事業化戦略および組織作りについてのコンサルティングを行い、感染症制御センター設立を支援した。
某非営利活動法人 (医療系研究ユニット)	NPO 法人の設立から運営にいたるまでの業務支援を実施した。また事業活動の立ち上げや PR 活動を支援し、会員募集や事業収益の獲得という具体的な成果を提供した。
某私立大学医学部	多剤耐性アンチバイオットクス感染制御に関する調査研究を企画し、医学部、病院、安全管理部、薬剤部等からの混成研究チームの立ち上げ、研究計画立案し、民間企業から研究資金を獲得した。
某私立大学考古学	考古学、医学、公衆衛生大学院で構成する融合研究チームを立ち上げ、文部科学省科学研究費(基盤研究 S)の採択に貢献した。
某私立医科大学系 列の研究会(有限 責任中間法人)	医師主導臨床試験ネットワークの構築と事業立ち上げに関するコンサルティングを実施した。
某私立大学医学部	産学連携プロジェクトとして、NiCT*から資金獲得し、聴覚障害者向け診療支援システムの研究開発に関する企画・推進支援を実施した。



主要実績 (3/3)

クライアント	プロジェクト内容
某私立大学医学部	産学連携プロジェクトとして、JST*から資金獲得し、睡眠時無呼吸症の重症度マーカーの研究開発に関する企画・推進支援を実施した。
某私立大学医学部	産学連携プロジェクトとして、リストバンド型脈波・睡眠センサーの研究開発に関する企画・推進支援を実施した。
某私立大学医学部	産学連携プロジェクトとして、糖尿病治療薬の臨床評価のための臨床試験計画策定、外部資金獲得から運営管理全般までを中央事務局として支援した。
某医療系公益財団法人	医師主導の臨床研究を実施するため、首都圏の臨床医(30施設)を組織化した。臨床試験計画策定から運営管理全般までを中央事務局として支援、円滑なプロジェクト運営のための組織戦略とコミュニケーションプランを立案、実施した。
某私立大学医学部	産学連携プロジェクトとして、前立腺癌の画像診断に関する新手法開発のための臨床試験計画策定から運営管理全般までを中央事務局として支援した。
某私立大学医学部	産学連携プロジェクトとして、睡眠時無呼吸症に関する簡易スクリーニングシステム開発と関連機器の臨床試験計画策定から運営管理全般までを中央事務局として支援した。
某私立大学医学部	産学連携プロジェクトとして、高齢者を対象とした肝癌術後予後向上に関する研究のための臨床試験計画から運営管理全般業務を中央事務局として支援した。
某私立大学医学部	大学経営陣に対して、既存のリサーチセンターに新たな事業(ARO 事業)の立ち上げに関する企画を行い、ARO としての事業化戦略および組織作りについてのコンサルティングを行うと同時に、学内外へのコミュニケーション活動全般を支援した。
某国立大学医学部 (某県医師会)	大学経営陣に対して、医学部内に新たな調査・研究事業組織の立ち上げに関する企画を行い、ARO としての事業化戦略および組織作りについてのコンサルティングを行った。

\* GHIT Fund：公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金

\* AMED：国立研究開発法人日本医療研究開発機構

\* ARO： Academic Research Organization、大学主導の臨床研究機関

\* CDC： 米国疾病予防管理センター

\* SOP： Standard Operating Procedures、標準業務仕様書

\* NiCT：国立研究開発法人情報通信研究機構

\* JST：国立研究開発法人科学技術振興機構

2023年7月29日作成